




平成29年度 学校評価

～平成30年度に向けて～

1 平成29年度の学校評価

- (1) 平成29年度の重点目標
 - ア 授業規律の確保
 - イ 信頼され社会で役立つ人材の育成
 - ウ 望ましい未来像設計（フューチャーデザイン）の啓発
 - エ 教職員の多忙化の解消
- (2) 本年度の学校関係者評価を実施する主な評価項目
 - ア 授業規律を高め生徒の主体的な活動を促す授業改善について
 - イ 自己肯定感・自己有用感を感じさせる教育活動の推進について
 - ウ 自ら将来を考えるキャリア教育の充実について
 - エ 多忙化解消に向けた取組について
- (3) 重点目標の達成に向けた取組と評価
 - ア 授業規律を高め生徒の主体的な活動を促す授業改善について


主な取組	自己評価結果
<p>(ア) 授業規律の確保による「学びの構え」を育成する。また落ち着いて授業が受けられるよう学習環境の改善を行う。</p>  <p>【教務部・保健厚生部 生徒指導部・各学年】</p>	<ul style="list-style-type: none">○ 授業開始及び終了時の挨拶、身だしなみや教材・教具を整えて授業に向かう姿勢を繰り返し指導することによって、落ち着いて授業に臨む生徒が多くなった。○ 授業公開の機会をとらえ、生徒が参観されることにより、授業に向かう自覚を高めることができた。○ 放課後や登校前に教員が教室整備を行うことにより、生徒に少しずつ変化がみられ、清潔を保つ意識が向上した。○ 掲示プリントや当番表など教室掲示の方法や黒板の利用法を工夫することで、明るく整然とした教室環境をつくることができた。
<p>(イ) 生徒の取組の意欲を喚起するアクティブラーニングを導入する。また、評価方法についてさらに研究を進める。</p>  <p>【教務部・各学年】</p>	<ul style="list-style-type: none">○ 主体的で深い学びを醸成するため、アクティブラーニングを意識する教員は増加したが、取組は不十分である。このため、複数の教科で他校訪問や研究会に参加し、指導力の向上を図った。○ 校内研修を継続的に行い、一部の教科であるが授業実践を取り組んでいる。○ 各教科や教員個々の特性に応じ、生徒の発言を引き出す授業展開を多く取り入れ、言語活動を重視した授業を行った。○ 学習評価については、授業に対する取組状況や課題の提出など、様々な観点から総合的に評価したが、効果の検証まで至らなかった。英語四技能評価は具体的な協議を進めている。

<p>(ウ) 高大連携事業の充実を図る。 【教務部】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連携は2年理系クラスで実施した。調査研究を主体にした講座を開設し、主体的に学ぶ機会をもつことができた。 ○ 生徒の学習に対する主体性が高まり、学習意欲の向上がみられた。 ○ 「科学三昧 in あいち」の県内研究発表大会で、昨年は1テーマの発表であったが、本年度は2テーマを発表し、成果を残した。
--	---


イ 自己肯定感・自己有用感を感じさせる教育活動の推進について

主な取組	自己評価結果
<p>(ア) 教師との信頼関係を深め、生徒の心に響く生徒指導を推進する。 【生徒指導部・各学年】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員がさまざまな指導場面で、生徒の話を聞くことから始めた。学年と生徒指導が常に連携を保ち、保護者への連絡と説明などを丁寧に行うなど、生徒と保護者に寄り添った指導を行うことができた。 ○ 担当学年が違くと声をかけづらい場面が見られた。
<p>(イ) ボランティア活動や稲東祭（文化祭・体育祭）、地域貢献活動、部活動の充実を図り、生徒に活力を発現させる。 【特別活動部・生徒指導部 各学年】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間2回の地域清掃活動と1回の交通安全啓発活動で、延べ310名の生徒が参加した。また、ボランティア部・吹奏楽部・生徒会役員が様々な地域貢献活動を行った。充実感を持った生徒が多かった。 ○ 稲東祭事後アンケートで、全生徒の97%が満足したと回答し、満足度が大変に高い結果となった。また、稲東祭実行委員は、生徒会役員を含めて57名が活動した。全校生徒で稲東祭を作り上げる意識が醸成されている。 ○ 部活動は、全体的に活発に活動している。生徒の参加率は10月調査では、1年生が56%、2年生が55%であった。7月から1年生の参加率が減少傾向にある。
<p>(ウ) 適切な生活習慣の確立と生活規律の確立を図る。 【生徒指導部・各学年】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遅刻については粘り強い指導を継続し、12月までの前年度同月比較で、約27%減少した。遅刻が多い生徒への対応は、教育相談や保健厚生部と連携し、多角的な視点から指導を行うことで、保護者の理解と協力を得ることができた。 ○ 身だしなみは、若手を中心に多くの教員が声かけを行い、改善されてきている。 ○ 地域からの交通マナーに関する苦情は減少している。2人乗りの指摘は無かった。
<p>(エ) 自己肯定感・自己有用感・帰属意識の醸成を図る。 【特別活動部・生徒指導部 教務部・総務部・進路指導部 保健厚生部・各学年】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稲東祭・遠足・修学旅行を始めとするさまざまな行事、交通・薬物・人権などの啓発教室、キャリア教育講演会、インターシップなど、それぞれの教育活動後に必ず振り返りの時間を設けることで、取り組む姿勢の変化や、自己の気づきを深めさせることができた。

ウ 自ら将来を考えるキャリア教育の充実について

主な取組	自己評価結果
<p>(ア) 学習学力検討会を通し、個の希望に合った進路指導を充実させる。 【進路指導部・教務部・各学年】</p> 	<p>○ 1年時からさまざまな手立てを使い、進路意識と学力向上を啓発した。生徒が自分の将来を現実的なものとしてとらえる意識を育てることが課題である。</p> <p>○ 3年時において、夏季のオープンキャンパスや、指定校推薦、AO入試など進路決定時期が長期間続き、一般入試まで学習を継続する生徒との意識の差が課題である。</p>
<p>(イ) 個々の適性に応じた進路指導を充実させ、具体的なキャリアデザインのための講演会を実施する。 【進路指導部・各学年】</p>	<p>○ 多様な進路選択を考慮した講演会等を実施することが十分にできなかった。生徒の進路希望を的確に把握し、生徒の実態に即した講演会を行う必要がある。</p> <p>○ 講演会を効果的なものにするため、事前指導を行うことでより積極的な聴講をさせたい。</p>
<p>(ウ) キャリア教育を充実させ、コミュニケーション能力や望ましい勤労観・職業観を育成する。 【進路指導部・特別活動部】</p>	<p>○ 本年度、56名の生徒がインターンシップに参加した。例年に比べ、参加者が減少した。積極的な参加者募集の呼びかけを行う必要がある。</p> <p>○ キャリア教育コーディネーターを活用するとともに、学校から新規事業所の開拓を積極的に行う必要がある。</p>

エ 多忙化解消に向けた取り組みについて

主な取組	自己評価結果
<p>(ア) 業務自体を見直すとともに業務の配分を再考する。 【各分掌】</p>	<p>○ 縮小できる業務、継続する業務の仕分けが不十分であった。</p> <p>○ 担当者の変更などにより、主任や経験者に業務が偏った。引継を十分に行い、業務を複数で分担することを検討する。</p>
<p>(イ) 定時退校日を徹底し、普段の退校時間も厳守する。 【教頭】</p> 	<p>○ 定時退校日を月2回の基準で設定した。退校時間が守られていた。</p> <p>○ 日常は、在校状況を見ながら声かけを行い、少しでも早い退校を促した。各主任に対して業務内容を先回りした声かけを行い、業務効率を高めた。</p> <p>○ 教員の在校時間について、教職員全体に占める月間80時間超過者の前年度比較では、19.6%から15.6%に減少した。その内、100時間超過者は、7.3%から4.5%に減少した。</p>
<p>(ウ) 週1回の部活動の休養日を設ける。 【特別活動部・各部活動】</p>	<p>○ 試合期を除き、週1回の休養日、週末の休養日はおおむね守られていた。考査が近くなると学習会を行う部活動があった。</p>

(4) 学校関係者評価委員会での御意見

<ul style="list-style-type: none"> ・授業の事前準備、生徒の取組への意識づけ、コミュニケーションの取り方など、よく工夫されていた。 ・少人数授業はとても良い。理科の授業では、生徒に実験を行わせることでより深い学びにつながる。 ・ICTを利用した授業でも、板書で「目当て」と「振り返り」を明記し、指導と評価の一体化を図る。 ・「わかる授業」は生徒が友達に教える、生徒の学び合いができるような授業の工夫を行ってはどうか。 ・稲沢東の魅力が上手く伝わっていないのではないかと。体験入学など情報発信を工夫すべきである。 ・教員の仕事が過剰になっている。やるべきこと、やらなくても良いことを今一度再構築してはどうか。
--